

2017年11月20日

各位

大京グループが取り組む「ICT活用」

平成29年度 IT賞（奨励賞）を不動産業界で初受賞

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽、以下「大京」）は、本日、公益社団法人 企業情報化協会（所在地：東京都千代田区、会長：宇治 則孝、以下「IT協会」）主催の平成29年度（第35回）IT賞において、「IT奨励賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。当社は、労働人口減少時代に向けた、Watson チャットボット「hitT0」活用について評価され、受賞に至りました。なお、平成13年より「IT賞」と名称変更以降、不動産業界では初の受賞となります。

■ IT賞について

IT賞は、わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対してIT協会が授与するもので、昭和58年に創設されました。35回目となる今回は、計33社29件が受賞しました。



※詳細はIT協会のホームページをご参照ください。

<https://www.jiit.or.jp/information/detail/info35itaward.html>

■ 当社の受賞内容について

受賞名：IT奨励賞

受賞理由：受賞理由は以下の通りです。

大京は、2016年10月に発表した中期経営計画「Make NEW VALUE 2021～不動産ソリューションによる新・価値創造～」において、新たな取り組みテーマの1つに「研究開発の推進」を掲げた。その一環としてAIの活用を進めており、最終的に、社内問い合わせに対する自動回答をAIチャットボットを利用して実現させるべく、システムヘルプデスクへのWatson(hitT0)の導入にターゲットを絞り、対応を進めた。

社内のITヘルプデスク業務での「hitT0」の活用は、業務効率化を図るとともに、運用のノウハウを蓄積しており、将来的にはそのノウハウを生かし、お客さまから寄せられる、住まいに関するさまざまなお問い合わせ対応業務への活用とAIの活用によるお客さま満足度を高めることを目論んでいる。

「人工知能、Watson、機械学習」の実体験を活かし、今後、事業部門の業務改善や、最終的には会話型対応、音声認識等も取り入れたお客さま対応（コールセンターへの導入）へと広げて行く同社の姿勢はIT奨励賞に値するものと評価した。（IT協会）

大京グループは、引き続きICT活用を活用した顧客サービスの提供により、お客さま満足度を高めるとともに、労働生産性の向上を図ってまいります。

(参考) 過去リリース

不動産業界初、大京が社内のITヘルプデスク業務に
IBM Watson を活用したチャットボットサービス「hitT0」を導入
⇒ <http://www.dAIkyo.co.jp/dev/files/20170314.pdf>

■会社概要

大京は、半世紀にわたり、全国主要都市において37万戸超の「ライオンズマンション」などを提供してきました。現在は、マンション開発にとどまらず、グループ12社とのシナジーを発揮し、建物の維持管理をはじめ、中古売買、賃貸管理、リフォーム、再開発・建て替え事業等を展開し、グループ全体のワンストップ・サービス体制でお客様のライフサイクルをサポートする企業グループを形成しています。

(詳細はウェブサイトをご参照ください。<http://www.dAIkyo.co.jp/>)

会 社 名：株式会社 大京
本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目24番13号
代 表 者：代表執行役社長 山口 陽
設 立：1964年12月
資 本 金：411億7,100万円(2017年3月31日現在)
事 業 内 容：不動産開発、不動産販売、都市開発